

## 平成16年度 第2回（平成16年7月27日）図書館運営協議会 会議要旨

### 1. 出席者

運営協議会委員委員（8名）

小杉山会長・中多副会長・加藤委員・山田委員・奥津委員・埜崎委員・日高委員・山本委員

図書館側委員（3名）

鹿島中央図書館長・広田奉仕係長・坂井視聴覚係長

図書館事務局

佐藤管理係長・秋山管理係主査・東主任主事

### 2. 場所 中央図書館大会議室

### 3. 開会

#### 【小杉山会長】

ただいまから平成16年度第2回図書館運営協議会を開催いたします。本日の議題は、報告事項1件と協議事項2件です。

はじめに、「6月29日開催の第1回子ども読書活動推進会議」について、事務局から説明をお願いします。

#### 【秋山管理係主査】

第1回新宿区子ども読書活動推進会議について概略説明。

推進会議の構成員は、学識経験者2名、幼稚園・小学校・中学校PTA代表など計10名で、座長には秋田喜代美東京大学大学院教授、副座長には新藤征（社団法人）読書推進運動協議会事務局長が選ばれました。当日は、平成15年度の実施状況及び平成16年度の主な取組について報告しました。

#### 【小杉山会長】

次に協議事項2件です。事務局から資料の説明をお願いします。

①高齢者サービスについて

②外国人サービスについて

**【秋山管理係主査】**

「高齢者サービス」について説明し、月刊誌「現代の図書館」から関連記事について紹介。

**【小杉山会長】**

年齢別人口構成は他区も似たようなものですか。新宿区の特徴はありますか。

**【佐藤管理係長】**

昭和42年をピークに人口は減少しています。現在の人口はピーク時の約3分の2、小・中学校の児童・生徒数は約5分の1であり少子化が進んでいます。人口に20代の占める割合が多いのが新宿区の特徴です。

**【鹿島委員】**

高齢者にターゲットを絞ってというのは、家庭配本サービスなど数は少ないですが、障害者サービスで高齢者にも歩行困難に該当する方にはお届けすることで対応しています。

エレベーター等ハード面での対応は困難です。

他には大活字本を購入しています。その他には高齢者を意識したサービスは系統的には行っていません。どの程度のことが必要か、将来どういうことをすべきか、ご検討お願いします。

**【小杉山会長】**

新宿区の福祉部等から、図書館に対する要請はありませんか。

**【鹿島委員】**

特に要請はありません。

**【埜崎委員】**

墨田区立図書館の高齢者サービスの資料を読んで、すばらしい対応をしているのがよくわかりました。新宿区ではこれからの取り組みになるのでしょうか、どの辺までできるのでしょうか。現在は家庭配本サービスくらいなのですが。

**【広田委員】**

家庭配本サービスは障害者の方を対象に昭和61年度から開始しました。高齢者でも足の不自由な方など、該当する方はおられます。

**【中多委員】**

家庭配本サービスは職員が行っているのですか。

**【広田委員】**

職員とボランティアで行っています。

**【奥津委員】**

戸山図書館で大活字本を見たことがあります。活字が大きいので、1冊の本が数冊に分かれています。高齢者にとって持ち運びは大変ではないでしょうか。大活字本の配本を希望される方はいますか。

**【広田委員】**

家庭配本サービスで大活字本を希望される方は存じ上げておりません。また大活字本は1冊が非常に高価なもので、これを購入すると一般図書の購入が少なくなります。大活字本は戸山図書館に約1200冊、中央図書館には約400冊あります。

**【中多副会長】**

こういうサービスがあることを、どのように区民に周知していますか。

**【広田委員】**

大活字本があることは図書館利用案内に掲載しています。

**【中多副会長】**

図書館利用案内は図書館に来る人だけが手に取るものです。区報などを利用し、区民全体に周知を徹底する必要があるのではないのでしょうか。

**【加藤委員】**

子どもに関する通知を幼稚園や学校を通じて配布するように、図書館の高齢者サービスについても福祉部等関係の窓口で配布したらどうでしょうか。図書館の高齢者サービスとは、自力で図書館に行けない方を対象にしたものか、それとも高齢者全体を対象にしたもののでしょうか。

**【鹿島委員】**

高齢者サービスとは高齢者全体を対象にしたものであるべきです。家庭配本サービスはその一部です。どういうサービスが高齢者向けとして相応しいのか議論していただきたい。

**【中多副会長】**

障害者であれ高齢者であれ若い方であれ、図書館利用に何らかの障害がある方を対象としたサービスの提供を考えるべきであって、特に高齢者向けの資料収集は必要ありません。高齢者コーナーの設置等も要望があれば検討の必要もありますが、年寄り扱いするのかという反応も考えられます。成長過程にあり特別な配慮が必要である児童サービスとはここが異なります。高齢者は人生経験・キャリアが豊富であり、自分の希望や欲求で読書をするわけで、あえて図書館で高齢者スペースを設ける必要はありません。

**【小杉山会長】**

できるだけ散歩をし、そのついでに図書館に寄ってもらえば、頭も体も動かすことになりいいことです。資料には施設のことしか書かれていないが、墨田区の場合は元々下町で近隣の助け合いが行われているところです。

**【中多副会長】**

浦安市は徒歩 10 分圏内に図書館があるように整備されており、職員 40 人のうち 39 人が司書であり、頭の中で図書館のコレクションがイメージできる。家庭配本サービスも様々な要望に応えられ、職員全員で対応できるのが強みである。地理的な条件・図書館の整備・コレクション・職員の水準が相まって浦安の現状がある。新宿でも一気に浦安市の水準まで引き上げることは無理だが、やれることから考えるべきだ。

**【埜崎委員】**

高齢者も本を読みたいという潜在意識はあるはずです。高齢者施設など高齢者が集まる場所で宣伝していただきたい。

**【小杉山会長】**

病院への図書館サービスはどうですか。

**【鹿島委員】**

子ども読書活動推進計画を策定し、平成 18 年度実施に向けて検討しています。

**【広田委員】**

都立大久保病院から入院患者向けに図書館で不要になった図書を提供してほしいという依頼を受けて3箱ほど提供しました。

**【埜崎委員】**

牛込郵便局には寄贈本がたくさん置いてあり、本が好きな人にとっては図書館以外にも本を手にとることができて、好ましいことです。

**【奥津委員】**

病院に本が行き来する場合、殺菌消毒などは行っていますか。

**【鹿島委員】**

もし消毒するとすれば、1ページずつ行うなど全部行う必要があり現実的ではありません。病院内で読み聞かせを行う場合も、そのあたりを考慮する必要があります。

**【小杉山会長】**

安い宅配業者を使って家庭配本サービスはできませんか。利用者も気楽に依頼できるようになると思います。

**【中多副会長】**

宅配サービスでは本を持っていく人との会話も大切です。訪ねてきてくれる人との会話を待っている人もいないのでしょうか。宅配希望が増えてきた場合は考える必要はありますが。

**【佐藤管理係長】**

宅配サービスを受けている人では、職員の来訪を望む方もいますし、あまり係りたくないから本を置いていってくれという方もいます。千差万別です。高齢者向けのコーナーは必要ないというのが委員の皆さんのご意見ということでよろしいですか。

**【中多副会長】**

高齢者だけでなく利用者にとって快適な空間をつくるよう努力していただきたい。

**【小杉山会長】**

高齢者扱いしてもらいたくないという人も多いです。

**【奥津委員】**

高齢者向けコーナーはともかく、高齢者向けの優先席はあってもいいのではないのでしょうか。

**【山田委員】**

自宅のすぐ近く、徒歩2分の場所に図書館があります。高齢者コーナーが別に設けられているわけではなく、高齢者優先席が閲覧席の中にあります。一つのサービス、心遣いとして高齢者の方を図書館に惹きつけるスペースであると思います。若い頃に図書館に行かなかった人が高齢になって時間ができた時に、図書館に行きたくなるような魅力を考えてもらいたい。

**【中多福会長】**

高齢者が立ちっぱなしで本を読むのは大変であり、シルバーやシニア席を設け、くつろいで本を読めるようにしてもらうことはよいと思います。

**【広田委員】**

中央図書館では高齢者優先席の希望はありません。四谷図書館ではありました。四谷図書館では優先席の希望はありましたが、高齢者席を何席あけておけばいいのかは難しいところです。閲覧席は開館から30分で満席になってしまう状況で、ここは高齢者優先席だから空けておく、というのはトラブルの原因にもなります。

**【佐藤管理係長】**

実態は先に広田委員が発言したとおりですが、高齢者優先席については検討の余地はあると考えます。

**【小杉山会長】**

次に、外国人サービスについてご検討お願いします。

**【秋山管理係主査】**

区立図書館の洋書の蔵書数（平成16年4月1日現在）について説明

**【加藤委員】**

外国語の本については子どもに英語の本を読ませるくらいしか利用したことはありません。フランスの雑誌が区内の人口比で多すぎます。韓国語や中国語の読み聞かせをやったらどうでしょうか。きちんと読み聞かせが出来るようなボランティアもいるのではありませんか。

**【佐藤管理係長】**

ボランティアの中に韓国語の読み聞かせをしたいという方もいます。職員にも外国語を勉強している者がいますが、実際に対応できるかどうかの問題があります。

**【小杉山会長】**

外国語の新聞・雑誌の購入についてはどのように決定していますか。

**【広田委員】**

利用者の要望を聞いたうえで、各館の担当者が集まって決めています。

**【山本委員】**

中央図書館でアジア系外国人から、「受付はどこですか？」と聞かれたことがあります。日本語だけではなく各国語の表示もしたほうがいいのではないのでしょうか。

**【広田委員】**

図書館利用案内では、日・英・中・韓の四ヶ国語で対応しています。

(小杉山会長退席)

**【山本委員】**

外国人が新宿区に転入してきたときに、外国人登録係で図書館のお知らせもしたほうがいいのではないかと。

**【鹿島委員】**

私の便利帳は各国語版でも発行されます。図書館では館内放送も日本語のみです。図書館だよりも各国語対応はしていません。何ヶ国語での対応が必要かについては、区内在住約 29,000 人の外国人のうち、約 20,000 人が中国人・韓国人であり、他国の人も少しは英語ができると考えられますので、英語・中国語・韓国語での対応としたいと考えます。

**【中多副会長】**

館内表示が日本語のみとなっています。日・英・中・韓の表示はすべきではないでしょうか。新宿駅の表示もそうになっています。また外国人サービスではなく、多文化サービスと言ったほうがいいのではありませんか。外国人のためだけでなく、日本人のためにも外国の資料を提供することは国際理解のために重要です。

**【日高委員】**

高齢者から特に要望がないとのことでしたが、利用者は言おうと思っても言えないことが多いものです。居心地がよければ足を運ぶし、不満はよっぽどのパワーがないと言えません。利用者が声を出し易い雰囲気をつくることも大事じゃないでしょうか。もっと職員を増やしていただければ、きめ細かい利用者サービスも充実できると思います。

**【中多副会長】**

図書館に関しては要求がないからやらないのではない。要求が先ではなく提供が先である。本来あるべき姿を考えて段階的に実施していくことが大事です。要求がないからといって現状に留まってはならないと思います。

**【鹿島委員】**

職員に要望を伝えてくださる利用者もおられますし、投書箱を利用する利用者もおられます。司書・職員の増配置の問題については図書館も行革の例外ではありません。その中で何が出来るかが課題です。中野区では図書館の運営委託を進め、司書も6割になりました。従前は3割だったので、かなり強化されたと聞いています。サービスを一つ一つやっていくと、いくらでも膨れ上がっていきます。図書館だけが聖域ではなく、管理運営の立場から横串を刺すことが重要です。要望がないからやらないのではありません。区全体の中で図書館のあるべき姿をうちだしていただくことが大事だと思っています。

**【中多副会長】**

多文化サービスについてですが、洋書約4,900冊ではまだ不足しています。スウェーデンのストックホルムの図書館では外国語の本は外国人登録のパーセンテージに応じて置いてあります。新宿区は1割強が外国人なのだから、もう少しコレクションを充実させてもいいでしょう。



**【加藤委員】**

北新宿図書館は近くに外国の学校もあり、外国人利用者も多いです。高齢者も子どもも外国人も気軽に入れるような図書館にしていきたい。

**【奥津委員】**

自分の子どもが通う学校には様々な国から来た人がいますが、学校の図書室には外国語の本はありません。外国の人にその国の本がどのくらい読みたいのか聞いてみたいです。

**【中多副会長】**

「ぐりとぐら」のような本は各国語でも出版されています。そういう本を揃えるのもいいと思います。日本語の子どもの本が外国語に訳されているものが3,000以上あると思います。

**【山本委員】**

英語が苦手なので、英語の本があるといいと思った。

**【埜崎委員】**

子どもが外国語に親しめるような図書館であってほしい。

**【広田委員】**

外国語図書は四谷・北新宿・大久保の3館で対応しています。四谷図書館は中国人がよく利用しています。中央図書館では外国語図書は将来的なことでは考えていません。一般図書の充実の希望に応えなければなりません。また、施設上難しい。他の図書館は蔵書の収容能力がありません。

**【中多副会長】**

区立図書館でも保存すべき本を保存していません。後で手に入れようと思っても不可能なのに。

**【鹿島委員】**

本日の議題を踏まえ、高齢者の特別なコーナーを設けることはしません。全体で快適な環境を整えるということで対応します。学校図書館については、山田委員及び所管に伝えます。外国語図書までは難しいですが。高齢者だけでなく、利用に当たり障害がある人たちへのサービス提供を考える必要があります。

**【中多副会長】**

敬老の日にはむしろ、子ども向けに老人問題を取り扱った本を紹介したほうがいいと思います。

**【中多副会長】**

本日の協議は終了します。